

理事長就任の挨拶

令和8年1月29日、当法人の創設者であり、発足以来理事長として活動を力強く牽引してこられた善功企先生が逝去されました。善先生は九州大学教授として防災地盤工学の研究・教育に多大な功績を残された後、「専門の防災地盤工学を通して社会に貢献したい」という強い志のもと、平成24年に本法人を設立されました。突然の訃報は残念でありませんが、当法人を継承するため九州大学教授の笠間清伸が会員総意のもと、新理事長に選出されました。

NPO 法人研究機構ジオセーフの新理事長として善先生が生前示された情熱と、地域社会の安全・安心を願う強い意志をしっかりと受け継いでいく所存です。

私は、設立時より理事として善先生の背中を追い、共に活動してまいりましたが、改めてその責任の重さを痛感しております。現在、我が国を取り巻く自然災害のリスクは依然として高く、特に九州地域においては南海トラフ巨大地震や活断層による直下型地震、さらには近年の梅雨時や台風による異常な集中豪雨など、市民生活を脅かす事態が頻発しています。このような状況下で、私たち「研究機構ジオセーフ」が果たすべき役割はますます重要になっています。当 NPO 法人は、以下の活動を柱として、引き続き社会に貢献してまいります。

・ 防災情報の提供と啓発：

地震や気象災害から地域と人を守るため、わかりやすい防災情報を提供し、地域の防災意識を向上させます。

・ 専門的知見による支援：

「液状化の不安」や「斜面の崩壊危険性」など、市民の皆様の切実な疑問に対し、地盤の専門家として公平かつ中立な立場からアドバイスを行います。

・ 技術の研究と普及：

災害を未然に防ぐ、あるいは被害を軽減するための工法や技術の研究・評価を行い、その普及に努めます。

善先生が関係機関と連携して築かれた「海域港湾空港技術報告会」などの研究交流の場も継承発展させるとともに、地域住民の皆様や働く方々がより安全に、安心して暮らせる社会の実現に向けて邁進いたします。

新体制となりました研究機構ジオセーフに対し、今後とも皆様の変わらぬご指導とご鞭撻、そして温かいご厚情を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年3月23日

特定非営利活動法人 研究機構ジオセーフ 理事長 笠間清伸